

令和6年3月2日

島本町立第一小学校
校長 高本 賢 様

島本町立第一小学校 学校協議会委員

令和5年度 島本町立第一小学校への提言

《令和5年度各回協議内容》

*** 第1回学校協議会（4月20日）**

- ・学校経営方針について
- ・学校の様子について
- ・教育活動及び年間行事予定について

*** 第2回学校協議会（6月9日）**

- ・学校の取組、様子について
- ・今後の主な教育活動及び行事について
- ・全日参観について

*** 第3回学校協議会（11月11日）**

- ・人権参観について
- ・今後の主な教育活動及び行事について

*** 第4回学校協議会（3月1日）**

- ・3学期の学校の様子について
- ・学校教育自己診断アンケート結果について
- ・今年度の教育活動等を振り返って

令和5年度の上記にある4回の学校協議会内容を踏まえ、下記のとおり取りまとめましたのでお取り計らいをお願いします。

記

学校協議会委員として島本町第一小学校学校協議会設置要項第3条に則り、学校長の求めに応じ、学校改善を進める立場から提言できることに大きな意義を感じています。

学校経営方針に基づく計画的な教育活動は、子どもたちの健やかな「学びと育ち」を育み、人間形成の礎となる重要なものだと思います。

快適な教育環境の下、子どもたちに「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「学びに向かう力、人間性」という資質・能力を育て、「主体的・対話的で深い学び」を育むためにも全教職員が一丸となり、意図的・計画的かつ組織的に教育課程を実施し、質の高い教育活動を創造されることが重要であると考えています。

はじめに

新型コロナウイルス感染症については5類に移行し、学校における取り扱いも従来よりも緩和されました。本年に入ってから鳴りを潜めていたインフルエンザウイルスが広がりを見せ、学級閉鎖も出る状況になりました。学校においては引き続き感染予防に留意していただき、快適な集団生活を維持していただきたいと願うところです。

ここ数年間、新型コロナ感染予防対策のため、制限ある学校運営を強いられていましたが、本年度に入ってから、学校行事等も徐々に以前の形に戻ってきました。授業参観、運動会参観についても昨年までの人数制限も撤廃され、児童、保護者だけでなく、学校を核とする地域にとっても喜ばしいことだと思います。

学習活動については、「ゲストティーチャーを招いての出前授業の実施」、「校外への社会科見学実施拡大」、「ボランティアさんの活動実施拡大」等のさらなる広がりが見られました。

安全管理については、「マスク生活からの解放」、「従来の給食指導形態の復活」、「グループ活動の充実」等の変更がおこなわれましたが、健康管理、環境整備、避難訓練実施等、児童の命を守る取り組みについては継続して実施していただきました。

提言につきましては、学校便り（ブログも含む）及び4回の学校協議会、学校行事参加での報告からとなることをご承知おき願います。

*学力向上（授業力・学校力）について

「自ら学び 相手を思いやる 健やかな子」の育成を教育目標とし、「基礎基本を身に付け自ら考える子」を育むために、学力、人権、特別支援の観点から、子どもたちに「思考力」、「想像力」、「表現力」を育成し、「協働的な学びの推進」をする今年度の取り組みがなされていました。

①本年も全国学力・学習状況調査、大阪府のすくすくウォッチが実施されました。全国学力・学習状況調査については、島本町発表の結果から、学力に係る項目については全国平均、大阪府平均を上回る成果が報告されています。質問紙調査結果では、「他者の意見についての寛容性」、「家庭学習の計画性」については今後の課題の残る報告となりました。結果を受けた分析を次年度に生かしていただきたいと思えます。

②学校教育自己診断アンケート結果では、「互いを認め合い、響きあう授業」の推進によって進んで学習に取り組む姿勢の成果が見受けられました。児童の読書に対する肯定的な割合が若干低くはありますが、図書館担当の先生による『本の福袋』の取り組みや掲示による読書啓蒙活動、図書ボランティアさんによる活動など、児童の読書意欲につながる活動がなされており、今後の成果に繋がることを期待します。また、学校図書館司書の配置は児童の読書意欲向上だけでなく、各教科の学習意欲向上にも繋がるものだと思います。継続した配置を望みます。

③本年度は特に「互いの意見を尊重し、自身の考えを深める学習」として協働的な学び学習が推進されていました。児童の学習意欲向上及び学びの深化につながったと思えます。

「主体的・対話的で深い学び」を推進する手段として、タブレットやワークシートの活用など学習内容の工夫がみられました。

④『みづまるキッズプラン』は3か年計画が終わり、新年度から小学校では「スタートカリキュラム実施」を迎えます。保幼小のスムーズな接続をはかるため、実施初年度の課題と成果の整理を学校単位でお願いをいたします。小中連携の取り組みである『つなぎングスクール』に続く、縦に開かれた教育の推進として今後の成果を期待します。

生活科の学習時間を確保するため国語科の時間が削減されることに懸念を感じます。

⑤日本新聞協会の『NIE 実践指定校』として府下7小学校の1校に本年度選定されました。

“新聞を教材として活用する活動”を推進する目的の指定です。初年度は全校集会の折、校長先生から新聞の記事を紹介しながら関心を高める取り組みがなされていました。また、学校だよりにも、ニュースや新聞への関心を促す記述があり、よかったです。

教材として新聞記事のテーマを取り上げ、掘り下げる取り組みにも期待します。

*心の教育について

「相手を思いやり、人と協力できるやさしい子」を育むため「人権教育の充実」、「道徳教育の充実」、「集団づくり」の取り組みがなされていました。

①人権参観では各学年のめあてに沿った授業がおこなわれ、響きあう学習活動がみられました。道徳だけでなく、各教科においても他者を思いやる授業形態がとられていたことはよかったですと思います。

②『島本プロジェクト』の取り組みでは「互いを尊重し、社会をつくる力を育む学校づくり～自ら考え、関わり、行動する授業づくりを通して～」をテーマとして大学との共同研究実践が行われ、児童と地域の方が共に学び、触れ合う取り組みがなされたことはとてもよかったですと思います。

③「ボランティア活動」を学習テーマとして取り上げ、現在行われているボランティアさんの活動を振り返り、ボランティアの意義と大切さを学び、自分たちができることは何かを考え、自らの行動に移した取り組みは今後につながるものであったと思います。

④“いじめ問題”については、学校だよりや全校集会において問題意識を持たせる機会がありよかったですと思います。また、スクールロイヤーを招いての、いじめ予防授業の実践もあり、継続した取り組みを望みます。『学校教育自己診断』アンケート結果の保護者回答で肯定的な回答が増えたのも取り組みの成果だと思っています。

⑤異学年交流については、他学年への本の読み聞かせや、遊びを通じての交流、平和学習における交流、クラブ活動や委員会活動での交流、保幼園児・中学生との交流等広がりが見られました。

*教育活動の充実について

①運動会は入場制限が解かれ、たくさんの入場者で活気あるものとなりました。全学年が一堂に集まり競技が出来たのは大変良かったと思います。午前中だけの開催は児童や保護者にとっても負担軽減となりよかったですと思います。今後、団体演技の実施も検討願えれば、より教育的価値が高まるのではないかと思います。

②参観は昨年度のような人数制限はなく、活気が戻ってきたと思います。

③昨年同様、タブレットや視聴覚教材を使用した「響きあう授業」がなされていました。場面に応じた学習機器使用や、健康面に配慮した、AI機器にとられない紙ベースの授業形態カリキュラムも必要かと思っています。図書館の積極的な活用も必要かと思われます。

④コロナ禍が明け、校外学習・社会見学・町内施設見学の実施が予定通り行われたのはよかったですと思います。宿泊行事も通常実施に戻ったことはよかったですと思います。

⑤地域の方々との交流活動も復活しました。内容を発展させながら継続していただきたいと思っています。

*生活指導及び習慣について

「望ましい生活習慣や生活態度で過ごす健やかな子」を育むために「生活指導の充実」、「食育の推進」の取り組みが行われました。

①クラブ活動・委員会活動等児童の活動内容も充実し、自主的な活動が行われていました。

②生活指導については、個人はもちろんのこと、縦の関係を重視した人間関係の繋がりや、集団を意識した指導となるようお願いいたします。また、保護者・地域と連携した取り組みとなるよう望みます。

③避難訓練の実施は、危機管理意識を育てるよい取り組みだと思っています。今回の休み時間を想定した避難訓練は臨機応変な行動を促すよい取り組みだと思っています。

④学校教育自己診断アンケートの結果から、「学校ははじめをしてはいけないと教えてくれる。」の項目について児童の肯定的割合は昨年同様高く、評価されます。保護者については肯定的割合が昨年度に比べ高くなりました。学校からの取り組み発信の成果かと思われます。いじめ事象についてはどんな些細なことでも当事者がいじめだと感じる感情についての指導を継続して欲しいと思います。

⑤「食育」について、学校教育自己診断アンケート結果で保護者の肯定的割合が20%を超える増加がありました。人権参観での中学校栄養教諭の招致、ブログでの“学校給食週間”や行事ごとの献立紹介、PTA“いきふれ”による食育講座等の取り組みの成果だと思います。今後も継続した取り組みを進めていただきたいと思います。

***教育環境整備について**

- ①タブレットを活用した学習活動が推進されています。今後もさらなる活用を望みます。
- ②教室環境メンテナンス（空調機器・ネットワーク設備等）については業者による定期点検を持続的にお願いします。

***PTA や地域との連携について**

- ①地域と学校とのとの連携も従来の形に戻り喜ばしいことだと思います。各ボランティアさんをはじめ地域の方々と共に、子どもを育てる姿勢を今後も継続していただきたいと思います。
- ②『安全懇談会』では、地区委員さんをはじめ安全ボランティアさん、PTAの方々が一堂に集まり、子どもの安心安全についての協議・交流が行われました。今後も地域の方々とPTAの繋がりを深めていただきたいと思います。

***情報の発信力について**

- ①学校だよりが紙面ではなくネット配信になりましたが、特に支障なく、SDGsの観点からもよかったと思います。
- ②ブログ更新で学校の様子がよくわかりました。「児童の活動の様子」、「学校行事の様子」、「ボランティアさんやPTA活動の様子」、「教職員校内研修や学習状況の様子」、「食育・図書館活動の様子」、「その他：学校生活全般にかかわる様子」を発信していただき、学校での取り組みや子どもたちの学校生活がよくわかり安心しました。
- ③学校だよりの校長先生の文章は読みやすく親しみを持てる内容でよかったと思います。

***その他**

将来的な構想として、学校のプールを町内1つにまとめた室内プールにする案があると伺いました。学校行事や引率人員、移動手段、教育課程との兼ね合い、緊急時の対応等も含めた課題の整理をしっかりとさせていただきたいと思います。

本提言に対し、学校としての見解及び教育委員会からの真摯なる見解を期待しております。